

# 議会だより

## 6月定例会

町議会6月定例会は、6月28日から7月9日まで開かれました。10議案を審議し、8議案を可決しました。主な議案は、平成2年度一般会計補正予算、国民健康保険条例の一部改正などです。町道路線の廃止・認定の2議案が産業建設委員会で継続審査となったため、取り下げられました。請願7件、陳情5件が提出され、請願1件が不採択となったほかすべて採択され、それらに基づき意見書が5件、関係機関に提出されました。一般質問には7人の議員が立ち、福祉対策、道路整備、排水水整備などについて町長にたずねました。

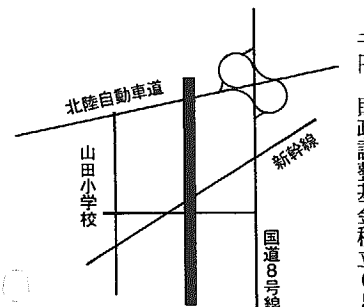
### 日程

- 6月28日 会期の決定、行政報告、議案の上程、議案の説明・質疑・討論・採決(諮問第1号、議案第30号) 委員会付託(議案第31号~39号) 請願・陳情の上程・質疑委員会付託。
- 6月29日(金) 産業建設委員会
- 6月30日(土) 総務文教委員会
- 7月1日(日) ~2日(月) 休会
- 7月3日(火) 厚生企業委員会
- 7月4日(水) 一般会計予算審査特別委員会
- 7月5日(木) 休会
- 7月6日(金) 一般質問
- 7月7日(土) ~8日(日) 休会
- 7月9日(月) 委員長報告・質疑・討論・採決(議案第31号~39号) 請願・陳情の審査報告・質疑・討論・採決

# 平成2年度一般会計補正予算案など 10議案を審議し、8議案を可決 請願8件、陳情5件を審議

### 議案

- 人権擁護委員の推薦(諮問第1号) 万5千円など。  
森山政治氏(鳥原本村・64歳)を人権擁護委員に推薦。
- 新潟地域広域市町村圏協議会規約の一部変更(31) 協議会事務所のある新潟市役所が移転したための変更。
- 黒崎町消防本部の設置等に関する条例の一部改正(32)
- 黒崎町消防署の設置等に関する条例の一部改正(33) 所在地が「大野3416番地1」から「大野3416番地3」に。
- 黒崎町公民館条例の一部改正(34) 所在地が「大野3393番地1、3394番地1」から「大野2843番地1」に。
- 黒崎町国民健康保険条例の一部改正(35) 所得割額を100分の15、2から100分の13.5に、均等割額を14000円から16000円に、平等割額を10000円から12000円にそれぞれ改める。
- 黒崎町道路線の廃止(36) 黒崎町道路線の認定(37) 下図の通り。\*産業建設委員会で継続審査となったため取り下げに。
- 平成2年度黒崎町一般会計補正予算(第1回)(38) 1億6738万6千円を増額し、総額52億9738万6千円に。
- ◎補正された主なもの  
立仏小学校屋内体育館大規模改造工事など6478万7千円、財政調整基金積立65千円に。



### 請願

- 集会所建設に関する請願書(請願第3号) 提出者 中学通り自治会長 宗村喜介  
現在の中学通り集会所は著しく老朽化しており、狭いため、新しく集会所を建設するための基金を積立て現在五百五十万円になっている。そこで次のように町長に勧告を。中学通り自治会で、現在地(町有地)に集会所を建設して町当局に寄附する。
- 「原爆被害者援護法」制定の促進に関する請願(4) 提出者 新潟県原爆被害者の会 西浦原支部会員 吉田市作ほか1名  
国に対し左記の内容を含む「原爆被害者援護法」制定の促進を求める意見書を提出するよう請願。  
。ふたたび被爆者をつくらぬことの決意をこめ、原爆被害に対する国家補償を趣旨とすること。  
。原爆死没者の遺族に弔慰金と遺族年金を支給すること。  
。被爆者の健康管理と治療・療養をすべて国の責任でおこなうこと。  
。被爆者全員に被爆者年金を支給すること。なお、障害をもつものには加算すること。  
※この請願に基づく意見書を内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣、自治大臣に提出。
- 「ゆとり宣言」の決議に関する請願書(5)

提出者 日本労働組合総連合会新潟県連合会 会長 滝沢剛ほか1名  
すべての国民がゆとりある豊かな生活が送れるように労働時間短縮、生活環境の整備等、条件整備に力をつくす趣旨の「ゆとり宣言」を決議するよう、請願。

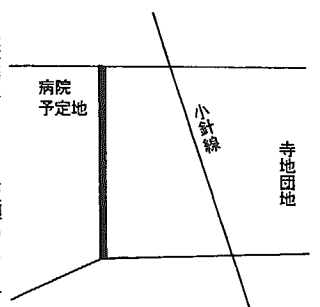
■黒崎高校西側排水路改修工事に関する請願書(6) 提出者 大宇金巻総代 前田松平ほか1名  
黒崎高校西側の排水路は高敷敷地及び道路により高低差が2メートル以上あり、矢板を走って土留めされているが、土圧により変形して倒れてきており、脳の用水路も沈下し、水がもれている状態になっており、全体に危険な状態になっているので、抜本的な対策をお願いしたい。

■米の市場開放阻止に関する請願書(7) 提出者 黒崎町農協 組合長 理事 本間春市ほか1名  
米の市場開放が絶対に行われないよう左記請願事項を採択し、政府等に意見書提出を。米は国内で完全に自給する政策を堅持すること。

■平成2年度産米の政府買入価格および良質米奨励金をはじめとする自主流通助成ならびにわが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立に関する請願書(8) 提出者 黒崎町農協 組合長 理事 本間春市ほか1名  
国民への安全・安定的な食料供給をはかり、農村生活と地域経済の健全な発展のため次の請願を採択、政府等へ意見書を提出していただきたい。  
。平成2年度産米の政府買入価格は現行価格水準の維持を図ること。  
。良質米奨励金をはじめとする自主流通助成は現行の措置を継続すること。  
。わが国農業・農村の将来展望と米穀政策の確立に関する請願：米の市場開放阻止と水田農業の将来展望の確立、農業生産基盤の整備拡充とコスト低減対策の強化、米の需給と価格の安定をはかる食糧制度の基本的堅持、自主流通米の安定生産・流通対策、米の消費拡大対策の充実・強化など10項目

### 陳情

- ※これに基づく意見書を内閣総理大臣、大蔵大臣、農林水産大臣、食糧庁長官に提出。  
■コメ輸入自由化阻止、日本農業と食糧を守る請願書(9) 提出者 農民運動新潟県連合会 代表 町田拓  
次の事項の実現をはかられるよう請願。  
。コメの輸入問題をウルグアイ・ラウンドの協議からはずし、コメの輸入自由化は絶対おこなわないこと。  
。食糧制度を根柢からくずす自主米市場開設はおこなわないこと。  
。農地の一括贈与及び相続税の納税猶予制度は農業後継者の定着に欠かせないものであり、これを廃止しないこと。  
。「コメ輸入自由化阻止・農業と食糧を守る自治体宣言」の決議をおこなっていただきたいこと。  
■生産費を償い、労働者なみの労賃を補償する生産者米価の実現を求める請願書(10) 提出者 農民運動新潟県連合会 代表 町田拓  
次の事項を関係機関に意見書として提出されるよう請願。  
。生産者米価は、生産費を償い、労働者なみの労賃を保障するものとして、一俵(60キロ)2万円以上とし、新算定



- 方式は導入しないこと。  
。良質米奨励金の削減をおこなわないこと。 ※不採択
- 町道路線番号24号交通安全教育センター線整備に関する陳情書(陳情第1号) 提出者 寺地本村自治会 会長 駒沢正衛ほか役員一同  
町の町道は、道路整備、排水路整備などが為されず、諸々のトラブルが生じているため、早急に古い農業用水路を都市排水路とし、町道を改良整備するようお願いいたします。  
■「日本人妻、夫の里帰り実現を求める、意見書の提出について」(2) 提出者 日本人妻、夫の里帰りを求める新潟の会 会長 小沢辰男  
昭和34年以来9万3千人の在日朝鮮人が帰国した。その配偶者として北朝鮮へ渡った日本人は約7千人いるがその消息はほとんどわかっていないため、その人たちの一時帰国などが一日も早く実現するよう国に意見書の提出を。  
※この陳情に基づき、意見書を内閣総理大臣、厚生大臣、外務大臣を提出。  
■「森林の復元を求める国会請願」の実現を求める陳情書(3) 提出者 全林野村松宮林署分会 執行委員長 関根依智朗  
林業が経済的になりたらず森林の荒廃が進み、林業の活性化が求められているため、内閣総理大臣など関係機関に意見書を送付するよう陳情。  
。外材主導の木材需給を改め、間伐材の利用開発、流通対策の確立、木造住宅建設の拡充、国産材の活用を積極的に推進するなど林業の振興に必要な施策を講じること。  
。山村地域の林業を活性化させるため、若年林業労働者の確保を可能にするための施策を講じること。  
。国有林野事業が森林資源の整備・充実に対し責任をもつてあたるよう機構の充実、要因の確保に努めることとし、そのための特別な財政措置を講じること。  
※この陳情に基づく意見書を内閣総理大臣、大蔵大臣、総務庁長官、林野庁長官に提出。
- 町道の改修整備並びに中の口川堤防の管理道路等の舗装整備に関する陳情書(4) 提出者 善久東自治会長(総代) 磯部博ほか2名  
町の町道(延長170メートル、幅3.5メートル)の改修整備ならびに堤防管理道路(延長720メートル)の舗装をし、新潟県物産館の発展に合わせ地域開発に尽力たまたわりたく陳情します。
- 町道認定並びに舗装整備に関する陳情書(5) 提出者 善久東自治会長(総代) 磯部博ほか2名  
町の道路(延長約120メートル)は山田土地改良区の用水路に沿って関係地権者の協力で設置されたものだが、これを町道として認定をたまたわり、舗装整備を願います。

